

サーバ移転ガイド

～「プラン20, 50, 100」からのスムーズな乗換手順を解説します。

はじめに

サーバ移転を 確実に、スムーズに行えるように。

「サーバ移転は難しそう……。」

お客様のそんな不安を解消するために、本紙「サーバ移転ガイド」をご用意しました。

本紙をご参照いただき、ご不明な点がございましたら、

【KDDI法人お客さまセンター】

お問合せフォーム：http://www.kddi.com/business/data_center/inquiry/

電話：0077-7007 <無料>（音声案内の③を選択してください。）

[受付時間 平日9:00～19:00（土・日・祝日および年末年始を除く）]

まで、お気軽にお問合せください。



お客様のサーバ移転のお役に立てれば幸いです。



●本紙は、あくまでもお客様のサーバ移転をお手伝いするもので、移転後の動作は保障いたしかねます。あらかじめご了承ください。

●動的なデータ*は移行後も常に更新される可能性があり、新旧サーバで完全に一致させることはできません。

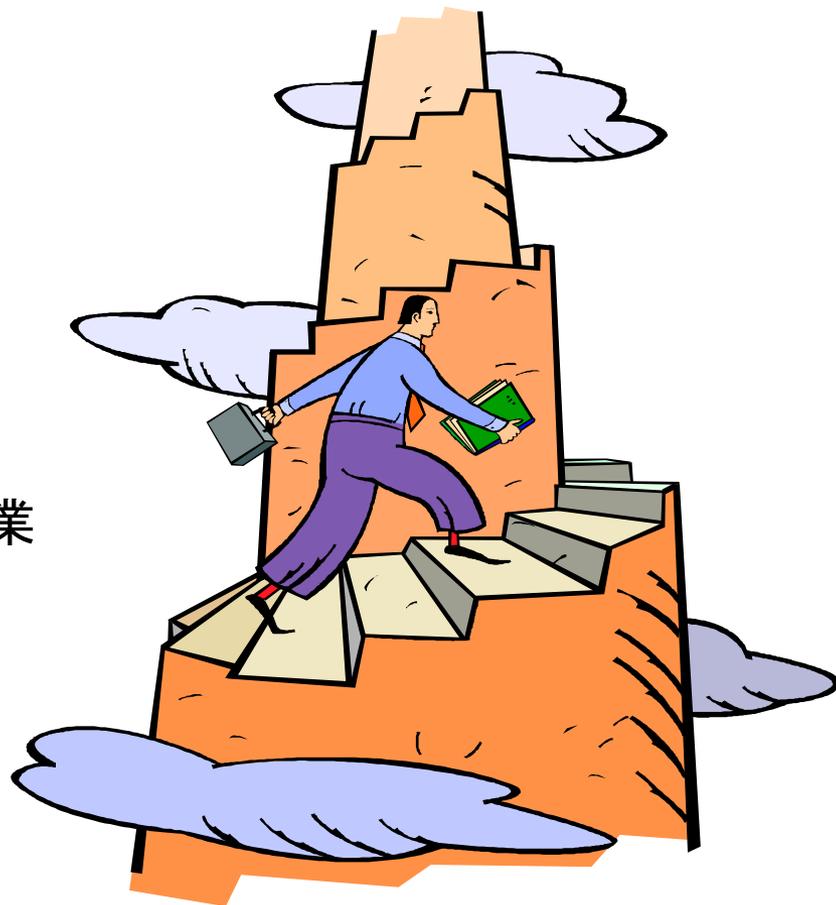
*動的なデータとは、アクセスカウンタ、お客様作成CGIから動的に変更されるデータなどを指します。

●DNS切替え後は、しばらくの間メーリングリストの通番が重なることがあります。

●各種プログラムのバージョンが異なります。そのためお客様に設置いただいているプログラムが正常に動作しない場合があります。移行後はお客様にてプログラムの動作確認をおこなってください。

もくじ

- サーバ移転の概要
 - 移転の可否(適用パターン)
 - サーバ移転のStep(スケジュール)
 - サーバ移転の準備
 - 並行運用
- Step1:「新規サーバ」のお申込み
- Step2:お客様に実施して頂く移転作業
 - サーバ側に行う作業
 - 端末側に行う作業
- Step3:DNSの移転作業
 - ドメインのDNS情報の変更
- Step4:サーバ移転完了



移転の可否(適用パターン)

● 移転可能なお客様と不可能なお客様

DNS・Web・メールで一部サーバをKDDIホスティングサービスでなく、お客様で運用されている(自営)場合や他社サービスをご利用されている場合、新ホスティングサービスでは移転ができない場合がございます。下記の表にて移転可能かどうか?ご確認をお願いいたします。なお、新ホスティングサービスでは、Webサーバのご利用は必須とさせていただきます。

また、機能の差異もがございますので、あらかじめご確認いただきますようお願いを申し上げます。

現在のご利用形態			新ホスティングサービス	
DNSサーバ	Webサーバ	メールサーバ	移転可否	備考
●	●	●	可	
●	●	△	不可	メールサーバのDNS設定が受けられません。
●	△	●	不可	Webサーバは必須。
△	●	●	可	一部機能制限がございます。(p.5)
△	●	△	可	一部機能制限がございます。(p.5)
△	△	●	不可	Webサーバは必須。

●:KDDIホスティングサービスをご利用

△:お客様自営または他社サービスをご利用

一部サーバを利用しない時の機能制限

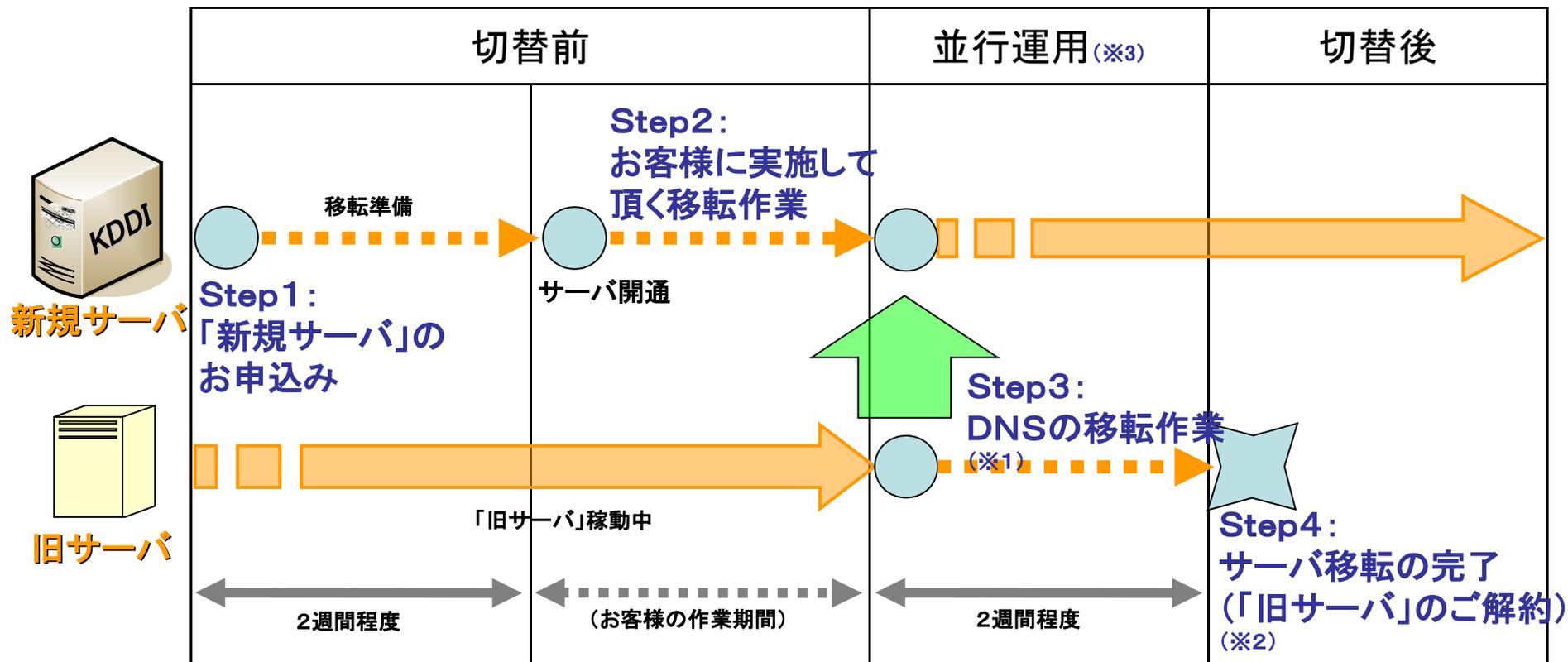
一部のサーバをホスティングを利用しなかった場合には機能制限が発生します。各機能に必要なホスティングサーバの組合せは以下のとおりとなります。

機能		ご利用必須となるサーバ		
		DNS	メール	Web
メール関連	ウイルスチェックサービス	●	●	-
	スパムメールチェック機能	●	●	-
	迷惑メール受信拒否設定	●	●	-
	ウェブメール(Active!Mail、多機能版、シンプル版)	●	●	-
	ウェブメール(携帯電話対応)	●	●	●
	上記以外のメール・メーリングリスト機能	-	●	-
FTP・Web関連	セキュアファイルマネージャ	●	-	●
	Get a File	●	●	●
	各種CMS	-	-	●
	各種データベース	-	-	●
	ストアカート	-	-	●
	上記以外のFTP、Web関連機能	-	-	●

●:ホスティングサーバ利用必須

サーバ移転の概要(1)

● サーバ移転のStep(スケジュール)



※1 ドメイン指定事業者の変更を行う場合は、ドメイン名の管理が当社に移行されてからの作業となります。ドメイン指定事業者の変更は現在管理している事業者の作業が発生します。そのため変更には2週間ほど必要となる場合もあります。

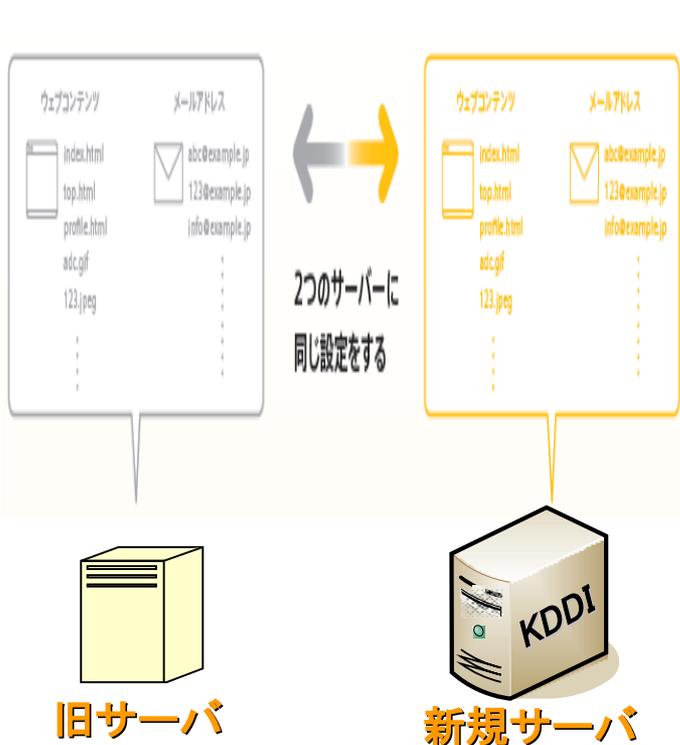
※2 「旧サーバ」の解約手続きは、「新規サーバ」へ移行作業を行いコンテンツの動作や各種機能が正常に利用できることを確認したあとに行ってください。なお、KDDIホスティングサービス プラン20、50、100の解約手続きは、サポートWebより行えます。

※3 併用運用期間は、新ホスティング+旧ホスティングの両方の料金が発生いたします。移転完了後は、旧ホスティングのご契約を速やかにご解約いただきますよう、お願い申し上げます。

サーバ移転の概要(2)

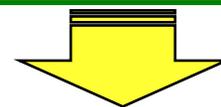
● サーバ移転の準備

サーバ移転を行う際は、インターネット上で「新規サーバ」へアクセスされる新しい情報が浸透していないため「旧サーバ」・「新規サーバ」どちらかのサーバへアクセスされます。「新規サーバ」へアクセスさせる新しい情報が浸透するまで、2週間ほどかかります。「新規サーバ」へアクセスされるようになるまでは、「旧サーバ」でもコンテンツを配信・メールを受信することがあります。



メールアドレス(ユーザID)の登録

「旧サーバ」で使用しているメールアドレス(ユーザID)を「新規サーバ」への登録を行います。



Webコンテンツをアップロード

WebコンテンツをFTPでアップロードし、ブラウザでIPアドレスでアクセスして正常に表示・動作していることを確認してください。



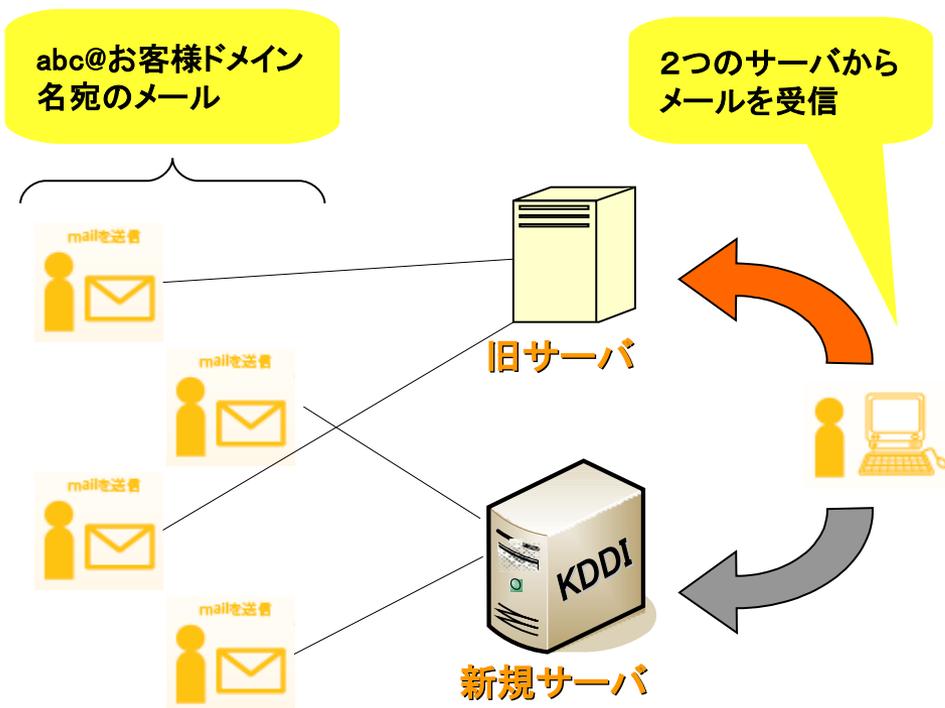
各種プログラム(CGIなど)の動作確認

CGIをご利用の場合、設定したプログラムが正常に動作していることをご確認ください。

サーバ移転の概要(3)

● 並行運用

指定事業者やレジストラ(ドメイン登録申請機関)に登録されているDNS情報を切替えても、インターネット上で「新規サーバ」へアクセスさせる新しい情報が浸透していないため「旧サーバ」・「新規サーバ」どちらかのサーバへアクセスされます。「新規サーバ」へアクセスさせる新しい情報が浸透するまで、2週間ほどかかります。しばらくの間は、「旧サーバ」・「新規サーバ」を並行運用でご利用ください。「旧サーバ」へメールチェックしてメールボックスが空になってから確認してから解約するようにしてください。



「旧サーバ」・「新規サーバ」の並行運用

- (1)「旧サーバ」か「新規サーバ」のどちらかのサーバにメールが届く。
- (2)「旧サーバ」か「新規サーバ」のどちらかのサーバのWebコンテンツが表示される。

Step 1 : 「新規サーバ」のお申込み(1)

● 「新規サーバ」のお申込み方法

移転先となるサーバ、「新規サーバ」をご用意します。KDDIホスティングサービス 共有型のお申込みは、「専用申込みフォーム」から行えます。

1. 「新規サーバ」のお申込み

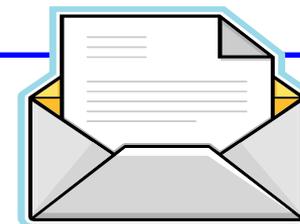
「専用申込みフォーム」より、「KDDIホスティングサービス S10～S50」から選択し、必須事項を入力してお申込みください。

「専用申込みフォーム」URL: http://www.kddi.com/business/kddi_hosting/kiyaku2/index.html



2. 「お申込み受付メール」の送付

お申込み後まもなく、ご注文内容を記載したメールが送信されます。メール受信後、内容をご確認ください。



Step 1 : 「新規サーバ」のお申込み(2)



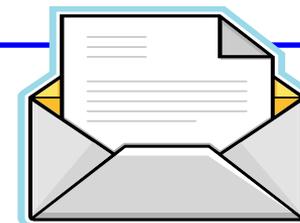
3. 「新規サーバ」の設定

KDDIにて、「新規サーバ」の設定を行います。設定完了後、「新規サーバ」設定完了のお知らせメールを送信します。



4. 「お客様サーバ情報」の送付

サーバ設定完了後、「お客様サーバ情報」を記載したメールが送信されます。メール受信後、内容をご確認の上、「お客様サーバ情報」に記載されているユーザID・パスワードを入力後、コントロールパネルにログインしてください。



KDDIではサーバの管理・設定ツールとして「コントロールパネル」をご用意しております。「コントロールパネル」は普段ご利用になっているブラウザから、簡単にメールアカウントの設定やFTPアカウントの作成などが行えます。**セットアップガイド**は以下のURLにあります。
http://www.kddi.com/business/kddi_hosting/pdf/setup_guide.pdf



Step 1 : 「新規サーバ」のお申込み(3)

● 「お客様サーバ情報」について

サーバ設定完了後、お客様サーバ情報をお送りいたします。ご契約時にご登録いただいた情報や、コントロールパネルのURL、ログインID・パスワード、ご契約内容を記載しております。

※右記は一例です。
※「契約開始日」前であっても、「お客様サーバ情報」が
お手元に届いた時点から、
機能に制限なくご利用いただけます。

差出人: KDDI法人お客さまセンター	
件名: [重要]KDDI ホスティングサービス 開通のご連絡	
本文:	
KDDI ホスティングサービス 開通のご連絡(開通通知書)	
(中略)	
<ご契約内容>	
● ご契約ドメイン名	: example.jp
● ご契約プラン	: KDDIホスティングサービスS10
● KDDIアクセス番号	: J01234567
● ご利用開始日	: 2008/4/21
● 課金開始日	: 2008/4/28
● ネームサーバ設定変更日	: 2008/4/28 17:00
<お申込者様情報>	
● お申込受付番号	: DH0001A
● 貴社名	: ○×株式会社
● ご担当者名	: ビジネス 太郎
● ご担当者メールアドレス	:
taro@businesskddi.jp	
<ご契約サーバ情報>	
● お客様ホームページURL	: http://www.example.jp
● IPアドレス	: 192.168.0.1
● ご利用のサーバ名	: x999.secure.ne.jp
● 共用SSLを使用する場合のURL	: https://x999.secure.ne.jp/~x999001
● POPサーバ	: pop.example.jp
● SMTPサーバ	: smtp.example.jp
● FTPサーバ	: ftp.example.jp
<コントロールパネルへのログイン情報>	
● URL	: https://x999.secure.ne.jp/admin/
● ユーザID	: x999001
● パスワード	: userpassword
パスワードはコントロールパネルにログイン後、「お客様情報」で変更できます。 本メール受信後、パスワードの変更をお勧めいたします。	
<マニュアル>	
● オンラインヘルプURL	: http://x.doc.secure.ne.jp/
<サポート>	
● お問合せフォーム	
http://www.kddi.com/business/data_center/inquiry/	
● 障害・保守情報	
http://www.kddi.com/business/otoiawase_support/shogai_hoshu/	
(略)	

Step2: お客様に実施して頂く移転作業(1)

● サーバ側に行う作業

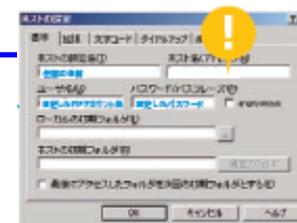
ご利用中の「旧サーバ」で公開しているWebコンテンツ、メールアカウントを「新規サーバ」へアップロードします。

- Webコンテンツの移転方法

「旧サーバ」にて現在公開してるWebコンテンツをダウンロードし、「新規サーバ」へアップロードします。サーバ移転を行う際には、「旧サーバ」、「新規サーバ」の2つのサーバいずれかへアクセスされるため、同一のコンテンツをアップロードすることをお勧めします。

1. FTPソフトの設定(「旧サーバ」への接続)

FTPソフトを利用し「旧サーバ」へ接続します。FTPソフトの設定方法は、「KDDIホスティングサービス 利用マニュアル」(158ページ参照)、または、サポートWebの「オンラインヘルプ」をご覧ください。



2. Webコンテンツのダウンロード(「旧サーバ」)

「旧サーバ」の所定のディレクトリより、Webコンテンツをダウンロードします。



Step2: お客様に実施して頂く移転作業(2)



3. 「コントロールパネル」へのログイン(「新規サーバ」への接続)

「お客様サーバ情報」(本紙9ページ参照)に記載されている「コントロールパネル」のログインURLへアクセスし、ユーザID・パスワードを入力してください。



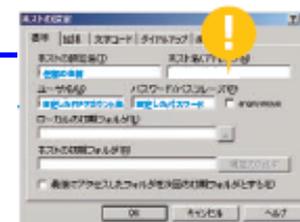
4. FTPアカウントの作成(「新規サーバ」)

「コントロールパネル」へログイン後、「FTP/ファイル管理」>>「FTPアカウントの作成」へ進み、FTPアカウントを作成してください。FTPアカウント作成方法は、「オンラインヘルプ」をご覧ください。



5. FTPソフトの設定(「新規サーバ」)

作成したFTPアカウントにてFTPソフトを利用し、「新規サーバ」へ接続します。FTPソフトの設定方法は、「オンラインヘルプ」をご覧ください。

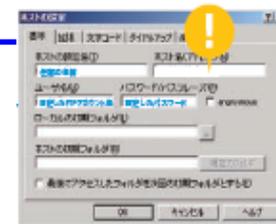


Step2: お客様に実施して頂く移転作業(3)



6. グローバルIPアドレスにて「新規サーバ」へ接続

FTPソフトにて「ftp.お客様のドメイン」の入力の求められる「ホスト名(アドレス)」欄には、「お客様サーバ情報」(本紙9ページ参照)に記載の「グローバルIPアドレス」を入力し、「新規サーバ」へ接続します。
※「新規サーバ」へは、グローバルIPアドレスにてアクセスします。



7. Webコンテンツの確認(「新規サーバ」)

Webコンテンツのアップロード後、ブラウザにて表示確認を行う際にも、ブラウザのURL欄にお客様の「グローバルIPアドレス」を入力することにより、「新規サーバ」へアップロードしたWebコンテンツの確認を行えます。

※「新規サーバ」へは、グローバルIPアドレスにてアクセスします。



ドメインでの「新規サーバ」へのアクセスは、インターネット上に「新規サーバ」へアクセスさせる新しい情報が浸透するまでできません。Webコンテンツの確認など「新規サーバ」へのアクセスは「グローバルIPアドレス」にて行えます。KDDIでは、1ドメインごとに「グローバルIPアドレス」を1つ付与しております。



Step2: お客様に実施して頂く移転作業(4)

- メールアカウントの移転方法

サーバ移転を行う際には、「旧サーバ」・「新規サーバ」のどちらのサーバへアクセスされてもメールを全て受信できるように、「旧サーバ」に作成しているメールアカウントを「新規サーバ」にも作成します。

1. 「サポートWeb」へのログイン(「旧サーバ」への接続)

KDDIホスティング サポートWebのログインURLへアクセスします。管理ユーザID・パスワードを入力しログインしてください。



2. メールアカウントの確認(「旧サーバ」)

KDDIホスティング サポートWebを利用し、メールアカウントの表示、csvファイルの取得を行います。メールの設定方法は、「KDDIホスティングサービス 利用マニュアル(プラン20, 50, 100用)」(16ページ参照)、または、サポートWebの「操作ガイド」をご覧ください。



Step2: お客様に実施して頂く移転作業(5)



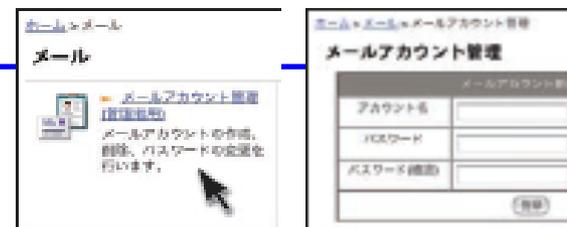
3. 「コントロールパネル」へのログイン(「新規サーバ」への接続)

「お客様サーバ情報」(本紙9ページ参照)に記載されている「コントロールパネル」のログインURLへアクセスし、ユーザID・パスワードを入力してください。



4. メールアカウントの作成(「新規サーバ」)

「コントロールパネル」へのログイン後、「メール」>>「メールアカウント管理(管理者用)」へ進みます。「メールアカウント管理」画面にて「旧サーバ」と同じメールアカウントを作成してください。メールアカウント作成方法は、「オンラインヘルプ」をご覧ください。



「新規サーバ」へのメールアカウントの作成は、csvファイルによる一括登録も可能です。メールアカウント作成方法は、「オンラインヘルプ」(http://x.doc.secure.ne.jp/mail/mail_admin/mail_admin02.php)をご覧ください。なお、「旧サーバ」から出力したcsvファイルには、パスワードの項目が出力されませんので、ご注意ください。

Step2: お客様に実施して頂く移転作業(6)

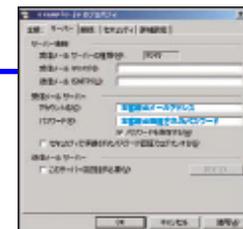
● 端末側に行う作業

－ メールソフトの設定方法

「旧サーバ」・「新規サーバ」にて同一のメールアドレスを作成後、「新規サーバ」へ届くメールも受信できるように、メールソフトの設定をします。

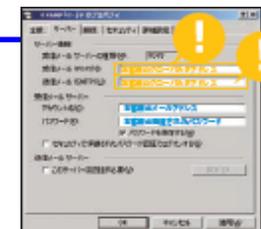
1. 作成したメールアドレスを設定

「新規サーバ」にて作成したメールアドレスを受信できるように、メールソフトの設定を行います。メールソフトの設定方法は、「オンラインヘルプ」をご覧ください。※画像は、「Outlook Express」の場合



2. グローバルIPアドレスにて「新規サーバ」へ接続

メールソフトにて「POPサーバ名」、「smtpサーバ名」の入力を求められる「POP. お客様のドメイン」、「SMTP. お客様のドメイン」欄には、「お客様サーバ情報」(本紙9ページ参考)に記載の「グローバルIPアドレス」を入力し、「新規サーバ」へ接続します。「新規サーバ」へ「グローバルIPアドレス」により接続することで、確実に「新規サーバ」へ接続されます。※画像は「Outlook Express」の場合



インターネット上で「新規サーバ」へアクセスさせる新しい情報を浸透するまでは、「旧サーバ」でもメールを受信することがあります。「旧サーバ」と「新規サーバ」を2週間ほど重複して利用し、「旧サーバ」からのメールも受信することをお勧めします。DNSを新サーバに切り替えた後は、旧サーバへはIPアドレスでアクセスすることをお勧めいたします。

Step2: 併用期間中のご留意事項

● メールに関して

- DNS変更後の旧サーバへのアクセスについて

- ・ DNSを変更すると新サーバの情報がインターネット上へ普及していきます。
DNS変更後の旧サーバへはIPアドレスでアクセスをいただく必要がございます。
(メーラのPOPサーバ、SMTPサーバの設定欄)

- 旧サーバでの「内部配送」について

- ・ 一般的にメールサーバでは、そのサーバが管理しているドメインについてはDNSを参照せずに配送を行います。これを「内部配送」といいます。

お客様が切り替え中は、旧サーバでアカウントを削除するまで(もしくは、「メールサーバを利用しない」の設定変更か、「解約する」まで)の間は、KDDIホスティングプラン20/50/100をご利用中の他のお客様が、お客様宛にメールをした際には、旧サーバのボックスへ配送されます。

旧サーバでアカウントを削除等した場合、送信元へは宛先不明のエラーが返るようになります。

※「メールサーバを利用しない」へ設定変更をした場合は新サーバへメールが届くようになりますが、送信元の方がKDDIホスティングプラン20/50/100をご利用でない場合は送信元サーバのキャッシュの影響により、送信元へ宛先不明のエラーが返る可能性があります。

そのため、念のためにも切り替え期間中(併用期間中)は新旧両方のサーバへアクセスすることをお勧めいたします。

※「メールサーバを利用しない」設定にする為には、ウィルスチェックサービスやWEBメールといった、オプションサービスを先行して解約いただく必要がございます。
オプションサービス解約に3営業日かかり、その後「メールサーバを利用しない」へ変更いただく流れとなります。

Step2: 併用期間中のご留意事項

● メールに関して

- au one netをご利用のお客様
 - ・ au one netでは、セキュリティ強化の目的で、Outbound Port 25 blocking の強化を順次実施しております。旧サーバは特例で規制対象外としておりましたが、新サーバは本セキュリティ強化の対象となりますので、25番ポートでの接続ができません。新サーバへの送信認証方法は、SMTP認証(587番ポート)をご利用ください。メールの設定については、<http://x.doc.secure.ne.jp/mail/index.php> をご参考にして下さい。
- 新サーバにて、旧サーバにない新しいメールアドレスを作成する場合
 - ・ 旧サーバに無く、新サーバにあるアドレスにて、旧サービス(プラン20/50/100)をご利用中の他のアドレスへメールを送信する場合、旧サーバにてセキュリティチェックがかかり、メールが到達しない場合がございます。その場合、旧サーバに一時的にそのメールアカウントを作成すると、新サーバからも送信が可能になります。

Step2: 併用期間中のご留意事項

● Webに関して

－ DNS変更後の旧サーバへのアクセスについて

- ・ DNSを変更しても、新サーバの情報はすぐにはインターネット上に普及いたしませんので、その間旧サーバへアクセスされる場合があります。そのため、コンテンツはサーバ併用期間中(解約直前まで)は削除しないことをお勧めいたします。また、旧サーバへFTP接続する際は、IPアドレスにて指定して接続されることをお勧めいたします。

● ご契約(料金)に関して

－ 新ホスティング+旧ホスティングのご契約です

- ・ 併用期間中は、新ホスティングと旧ホスティングの2つをご契約している状態ですので、料金がそれぞれ発生いたします。移行作業が完了いたしましたら、速やかに旧ホスティングをご解約いただきますようお願い申し上げます。

Step3: DNSの移転作業(1)

● ドメインのDNS情報の変更

「新規サーバ」を利用される場合、ご利用のドメイン名の状態によって移転手順が異なります。それぞれの移転手順をご説明します。

- ドメインのDNS情報変更方法(ドメイン管理事業者:KDDI)
- ドメインの移管方法(ドメイン管理事業者:他社⇒KDDI)
- ドメインのDNS情報変更方法(ドメイン管理事業者:他社)

「ドメインのDNS情報」とは？

「旧サーバ」・「新規サーバ」の2つのサーバに同じ設定をしたのち、ドメインのDNS情報を変更します。「ドメインのDNS情報」とは、ドメインがどのサーバのWebコンテンツ・メールアドレスを参照するかを指定している情報です。



Step3:DNSの移転作業(2)

- ドメインのDNS情報変更方法(ドメイン管理事業者:KDDI)

KDDIにて管理しているドメインのDNS情報の変更は、Step1:「新規サーバ」のお申込みにてあわせてお申込みいただけます。(本紙7ページ参照)

- ドメインの移管方法(ドメイン管理事業者:他社⇒KDDI)

ドメイン管理事業者へ移管することを連絡してください。連絡後、KDDIへ移管をお申し込みください。KDDIへのドメイン移管のお申込みは、Step1:「新規サーバ」のお申込みにてあわせてお申込みいただけます。(本紙7ページ参照)

KDDIへ移管できるドメイン

KDDIにて管理できるドメインは下記のとおりです。「新規サーバ」との一括管理をご希望の際にご活用ください。

gTLDドメイン :【.com】、【.net】、【.org】、【.biz】、【.info】

属性型ドメイン:【.co.jp】、【.ac.jp】、【.go.jp】、【.ed.jp】、【.or.jp】、【.gr.jp】、【.ne.jp】、【.ad.jp】

汎用型ドメイン:【.jp】

※日本語.jpなど2バイト文字のドメイン名は受け付けておりません。



ドメイン管理事業者に他社(KDDI)へ移管することを必ず連絡してください。ドメイン管理事業者によっては、連絡がない場合、移管できないことがあります。ご注意ください。



Step3: DNSの移転作業(3)

– ドメインのDNS情報変更方法(ドメイン管理事業者:他社)

ドメインのDNS情報変更は、ドメインの管理者、または事業者が行います。ドメインの管理者へDNS情報の変更を依頼してください。

1. 新しいDNS情報を確認

新しいドメインのDNS情報を確認します。新しいDNS情報は、KDDIよりサーバ設定完了後にお送りしている「お客様サーバ情報」(本紙9ページ参照)に記載してあります。



2. 新しいDNS情報をドメイン管理事業者へ伝える

新しいドメインのDNS情報を確認後、ドメインのDNS情報の変更をドメイン管理事業者へ伝えてください。変更完了後、ドメインは、「新規サーバ」のWebコンテンツ・メールアドレスを参照するようになります。



ドメインのDNS情報の変更方法は、各ドメイン管理事業者により異なります。変更方法を事前にドメイン管理事業者を確認することをお勧めします。

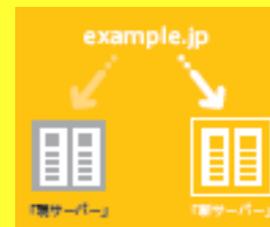
Step4: サーバ移転完了(1)

ドメインのDNS情報を変更すると、移転作業は完了です。

ドメインのDNS情報の変更をすると、移転作業は完了です。ドメインはDNS情報を変更されたことにより、「新規サーバ」のWebコンテンツ・メールアドレスを参照ようになります。



ドメインのDNS情報変更後、「新規サーバ」へアクセスさせる新しいDNS情報がインターネット上に浸透するまで、2週間ほどかかります。その間は、「旧サーバ」にもアクセスされる可能性があるため、「Step2: お客様に実施して頂く移転作業」において、2つのサーバを同じ設定にします。DNS情報変更後も「旧サーバ」と「新規サーバ」を2週間ほど並行して利用することをお勧めします。



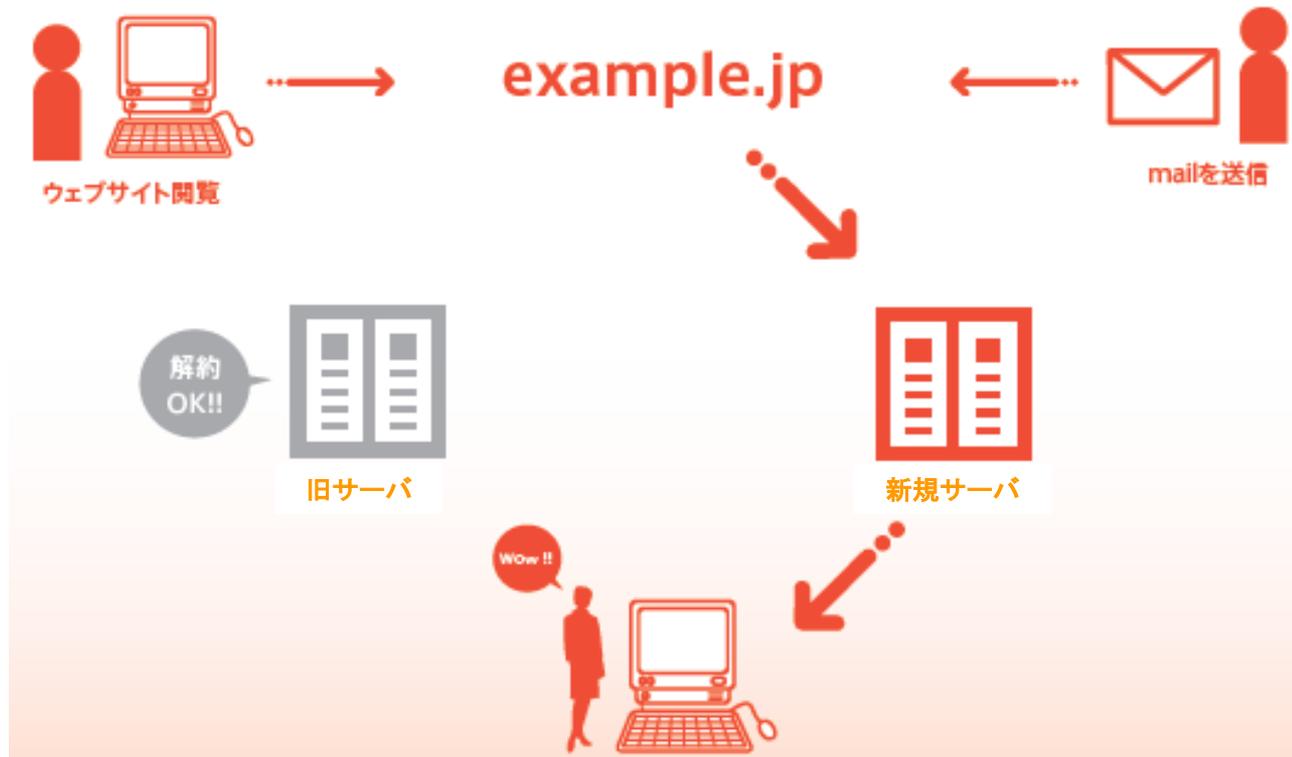
Step4: サーバ移転完了(2)

ドメインの新しいDNS情報が浸透したら、、、

サーバ移転完了です。

1～2週間ほどでインターネット上に「新規サーバ」へアクセスさせるDNS情報が浸透します。DNS情報が浸透したら、サーバ移転は完了です。

「旧サーバ」は保存データ(メール、Webコンテンツなど)を確認後、メールアカウントを削除し、解約することをお勧めします。お疲れ様でした。



お問い合わせ先



はじめて電話サポート

0077-7007 <無料> (音声案内の③を選択してください。)
受付時間 平日9:00~19:00 (土・日・祝日および年末年始を除く)



「サーバ移転」はもちろん、レンタルサーバを使い始めの頃につまづきやすい「メール」「FTP」についても、ていねいに電話でサポートします。はじめて電話サポートでは、「説明する」のではなく「一緒に操作して」そして「覚えていただく」ように、ていねいにご案内いたします。またウェブサイトに接続できないなどの緊急時にもご連絡ください。



お問合せフォーム

http://www.kddi.com/business/data_center/inquiry/



専門的な知識が必要なテクニカルなご質問は、「お問合せフォーム」にてお問合せください。専門のサポートエンジニアが、ご質問いただいた内容を調査し、的確にお答えします。